

今、熊本かがやきの森支援学校では・・・(高等部プールでの学習 その13)

本校舎でのプールの授業が始まって一週間が経ちましたが、ようやく待ちに待った高等部生徒の授業が本日用われていました。授業参観に行くタイミングが遅れてしまったので、前半で入水した生徒の様子を見ることが出来ませんでした。その分、後半に入水した生徒の様子をしっかりと参観させてもらいました。

一人一人の生徒によって学習の目標は様々なので、浮き具に身を任せてリラクゼーションをしたり、歩行の安定性を図るために水圧を感じながら歩いたり、バタ足で少しでも長く泳げるように頑張ったりする姿がたくさん見られました。プールサイドから参観している私も、思わず拍手をしたり、「すごい！」と声を掛けたりして応援してしまいました。生徒の中には、プールでの学習の最後に入れる、「ジャグジー風呂」を楽しみにしている生徒もいるため、ジャグジーに浸かって何とも心地よさげにしている姿が大変印象的でした。

また、安心安全をしっかりと担保した作りのプールとなっているので、移乗支援の際の、生徒の身体的負担を軽減させたり、濡れていることによる転倒・転落のリスクをより軽減させたりするために、ストレッチャーをプール内のスロープを使って運び入れ、水面とストレッチャーの高さを同じにして、水中から移乗出来るようにしています。

今回の参観でも、泳ぎが上達したことを得意げに見せてくれたり、リラックスした表情を浮かべたり、笑顔がたくさん見られたりと大変素敵な時間となりました。

また、その生徒の活動をしっかりとサポートする職員の姿に、心が温かくなりました。私も自分の経験からですが、プールでの活動があった日は、生徒の疲労はもちろんのことですが、職員はそれ以上に事故無く学習が終了するよう、そして尚且つ、子どもたちが喜んだり、楽しんだりしてくれるよう、精一杯に頑張ってしまう。その分、心身共に疲労感を感じてしまうと思いますが、その疲労感も子どもたちの楽しんでいる笑顔で吹き飛ばしてしまうようです。

今日から分教室でもプールでの学習が始まったようです。教頭先生が参観されているので、次号に掲載したいと思います。

令和5年6月26日

熊本かがやきの森支援学校長

富永 佐世子